

じゃりみち

…仮設支援情報…



第9号 発行日 1995. 12. 21

阪神大震災地元NGO救援連絡会議

仮設住宅支援連絡会

TEL: 078-362-5951 / FAX: 078-362-5957

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

今年で今年のじゃりみちはおしまいです。

来年は・・・いつになるんだろう？ とにかく来年もよろしくお願ひいたします。

風邪をひかないようにお気をつけて！

年末年始の事務局の予定

12月28日～1月8日まで事務局（毎日新聞神戸ビル）は閉めます。その間の連絡は村井の携帯電話(030-160-3816) にお願ひします。また事務局員は各団体のイベントに走り回ります。

1月の予定

1月10日 全体会 毎日新聞神戸ビル3F（予定）

1月24日 寺子屋及び情報交換 上記に同じ

注：来年からは全体会を月2回行うかわりに

「仮設寺子屋」（学習会）を行います。

お楽しみに！細かい内容は次回じゃりみちで。

全体会の報告

前回の全体会では12月9日に行われた防災フォーラムと12月10日の全国キャラバンの報告及び、年末年始の各団体の予定の報告等が中心になりました。12月9日の仮設フォーラムでは様々な話し合いの中から、「拠点が無ければ復興できない」という言葉が出てきました。また、バスプロジェクトもほぼ完璧に行うことができ、かなり好評だったという報告をいただきました。

その中から「拠点」というキーワードの意味を考え、自分の街に帰ってくるためのきっかけ作りとして今後このバスの企画をうまくつなげないだろうか、という意見が出ました。

（全国キャラバン、年末年始の各団体の予定は別記。）

ガレキは走る

（全国キャラバン報告）

12/10静岡、12/16横浜市立大学、といよいよ「仮設住宅支援連絡会全国キャラバン実行委員会」のガレキ展示と現地報告会がスタートしました。

12/10に静岡ボランティア協会との共催で行われた「ガレキは語る～募金活動」では、静岡市内のメインストリートにガレキを展示しました。また12/16には横浜市立大学での「つながりを見えるものに～阪神大震災・被災地からあなたへ～」というシンポジウムが開催され、会場となったカメリアホール前広場にガレキを展示し、神戸の現状を報告してきました。「ガレキ」の反応はすごくよく、参加した人はこの震災の被害の大きさを改めて認識されたようです。

次回は、来年1/14～1/17まで東京と埼玉をガレキは走ります。トラックでの移動なのでスタッフはクタクタですが頑張っています。会場にたくさんの方々が集まってくれることで、私たちスタッフは元気づけられます。みなさまからの呼びかけをお願い致します。

*早速静岡キャラバンの後で¥1,187,396の入金がありましたことをご報告致します。ありがとうございました。

12月9日に、仮設住宅で暮らす人たちに震災前に住んでいた街をみてもらおうと、「見に行こう！ 街・人・心」というテーマでバスツアーを行いました。今回は姫路市の仮設住宅に暮らす人達と、震災前に長田に住んでいた人に取材をした中から感想を寄せてもらいました。

有光るみ

録音用のカセットを手近づくと私に「聞くだけ聞いて何もしてくれへんねんから話さだけ無駄や」という声が投げられた。みると60歳ちょっと前ぐらいの買椋十分のおばあちゃん。訳を尋ねると、一週間前、テレビ局が取材にきたので、彼女は切迫した現状を必死に伝えたが、結局それは放送予定日に流れなかったという。また彼女は神戸市の職員にも同じことを伝えたが、これも「近いうちに回答します」の言葉を残して去ったきり、なしのつぶてという。彼女の言葉はいつもどこかで消されてしまっている。「ばかにされているみたいでみじめでねえ」と言いながらも、何人かが今の心情を話してくれた。

その多くは、やはりお金と住まいのことであった。年金給付前の人にとって雇用保険給付期間が終わり、働く場も見つからない今、その生活は本当に厳しい状態だ。それに加え姫路の仮設に住む人達には、自分達が忘れ去られてしまうのではないかと不安もある。「姫路の方には、ようしてもらってます。でも私ら神戸の人間やねんよ。」その声は重かった。

次に私は長田行きのバスに乗り込んだ。つい一年前まで暮らしていた、慣れ親しんだ長田へ向かう車内では、「おたく長田のどこでっか」という声が飛び交い、ワイワイと賑やかな雰囲気だった。「そこの角に入ったところの〜という店がうまいんや」と窓越しに必死に説明するおじいちゃんもいた。しかしそのうち「長田に帰りたいなあ。ここにはぎょうさん友達おるし」「もう一回ここに住みたいなあ」という声があがり、多くの人が深くうなずいていた。今まで違う環境で生活していた人が仮設とい新しい環境の中で一緒になると、習慣の違いなどで問題が起こることがある。高齢者にとって、今から新たにコミュニティーをつくるというのは極めて困難なことなのだ。改めて仮設の在り方に疑問が残る。

バスを降り、今私は、震災によって起こった人災で壊れた生活を、もう一度見直す必要性を実感している。これからが大変なのだ。



心のケアを考える

阪神高齢者・障害者支援ネットワーク世話人/林山朝日診療所所長 医師 梁勝則

ボランティア仲間の看護婦たちの経験は命や心を支えるケアについて多くのことを示唆する。押しつけの善意や一方的な説得は役に立たない事が良くわかる。彼女たちの手法は、先ずそこにいること（ひとりぼっちにしないこと）、必要があれば傾聴に徹すること、させるのではなく先にお手本を示して、その後一緒にしてみることに、説得ではなく諭しにより良い方向に導くこと、である。何よりも重要なのは、これらのケアを継続的に行っているということである。

また心のケアに必要な態度としては、被災した人が感情を表すことを肯定的に促すこと、「あなたは一人ではない」というメッセージを絶えず送り続けること。被災者の多くは、1月16日までは普通の市民生活を送ってきたのであり、確かな「プライド」を持っているということを忘れない。タブー言葉（家族のためにも頑張らなくては、不幸中の幸いでしたね、あの人はもっと大変ですよ、忘れるしかありません等）を使わない。

（中略）

米国の「心のケア」とは、住宅の再建や補強の相談、ストレス相談、行政上の相談の窓口が集められ、個人の状況にきめ細かく対応して、被災者への復興援助を一元的に提供する包括的な援助システムのことである。日本の「心のケア」とはこのうちの「ストレスケア」のみを指すことが多いのは残念である。「心のケア」は全体の援助の一環として提供されなければ、あまり役に立つとは思えないのだ。

『仮設住宅住民へのボランティアサポート ～命と心のケアをめざして～』より抜粋

12/22

ほんわかテントin脇浜
中央区ボラ
078-232-1447

12/23

DREAM PAGEANT IN TAKATORI
(炊き出し・餅つきetc)
グループ あばうと poco a poco
030-169-2567 (中溝)

餅つき(須磨区竜ヶ台)
ゆいまーる神戸
078-791-4829

餅つき(垂水区新多聞)
グループ あばうと
078-785-0565

仮設訪問(学園東町第1・6)
週末ボラ
078-795-6499

元気っ子ひろば(ホ-ア第6)
中央区ボラ
078-232-1447

★年越しそば(姫路)
姫路こころのケア
0792-66-3529

1/4

餅つき
週末ボラ
078-795-6499

12/24

ふれあいKOBÉ(しあわせの村)
(餅つき・しめ縄作り)
がんばろう神戸!
078-595-2800

炊き出し(須磨区外浜)
グループ あばうと poco a poco
078-785-0565 (アバウト)

炊き出し(学園東町第5)
週末ボラ
078-795-6499

12/25

餅つき(兵庫区荒田)
SVA・アイト
ちびくろ
078-512-3703(SVA)

12/29

★餅つき
(須磨区外浜)
poco a poco
会長 東
078-735-0025

12/28~1/1

ボランティア常駐
(兵庫区荒田)
SVA・アイト
ちびくろ
078-512-3703(SVA)

12/31~1/1

★年越しそば・餅つき
(須磨区菅の台
第1・2)
ゆいまーる神戸
078-791-4829

1/6

炊き出し(西神第1)
週末ボラ
078-795-6499

1/1・2・3

会食会(菊水)
SVA
078-512-3703

1/2

餅つき大会(新多聞)
グループ あばうと poco a poco
078-785-0565(アバウト)

1/3

仮設巡り・甘酒配布
(西神南・室谷)
週末ボラ
078-795-6499

12/26

足湯マッサージ・炊き出し
(三木市)
F I W C
0742-44-0776

餅つき大会(ホ-ア第2)
会長 林
078-303-3940

★餅つき(須磨区東白川台)
副会長 森山
078-742-3126

餅つき(ホ-ア第2)
長寿社会文化協会
06-941-5448

12/27

★餅つき(西神中央公園西)
会長 井上
078-997-9332

12/31

年越しそば(ホ-ア第2)
会長 林
078-303-3940

年越しそば(兵庫区菊水)
SVA
078-512-3703

1/7

七草粥
SVA
078-512-3703

(★はボランティア募集中)
・この他に企画のある
方、また人手が足りない
と言う方は事務局まで
お知らせ下さい。

年末年始
各団体予定

じゃりの一口めも

やさしいハーブ!?

ハーブというとうげんやミントなどを思い浮かべるところですが、実はたまねぎ・キャベツ・人参・ゴボウといった野菜達も立派なハーブなのです。

例えばキャベツ。キャベジン等のように胃の薬でよく知られていますが、他にもやけどや外傷にも効果があり、またリウマチ、神経痛等の鎮痛剤にもなります。

次にあげられるのがたまねぎ。「くたひれたー」と思ったら、タマネギを主役に今日の献立を。煮たり、焼いたり、炒めたり、揚げたり……。こんな身近なたまねぎが?と驚くほど元気になるそうです。今日はしんどいから卵丼!というのはどうでしょう?・